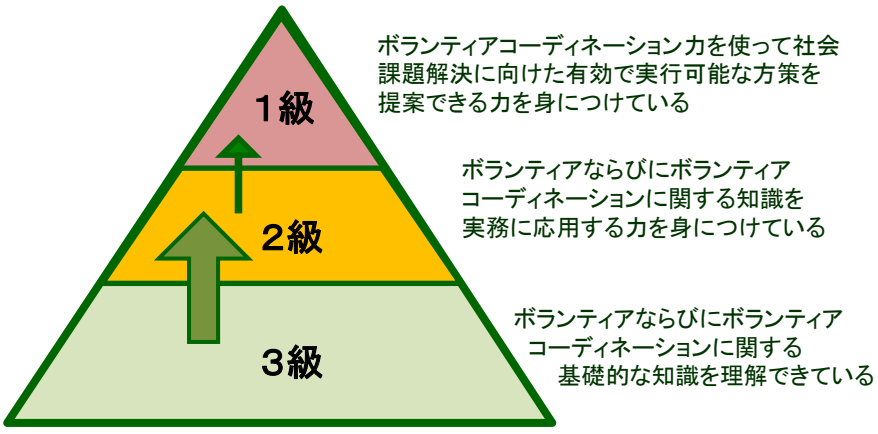
1 ボランティアコーディネーション力検定とは？

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門分化する現代。
私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。
市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけでの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。
私たち日本ボランティアコーディネーター協会では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーション力（りょく）」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力

ボランティアコーディネーション力検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「３級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「２級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「１級」と、３つのレベルを設定しています。

日本ボランティアコーディネーター協会が実施する検定システムの全体像



認定特定非営利活動法人　日本ボランティアコーディネーター協会

2001年に設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している全国ボランティアコーディネーター研究集会や、基礎研修・ステップアップ研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。

＜ボランティアコーディネーション力検定試験委員会＞
委員長　妻鹿ふみ子（東海大学）
副委員長　栗木　梨衣
委員　青山　織衣（岸和田シティプロモーション推進協議会）
足立　陽子（淑徳大学 地域共生センター）
岩井　俊宗（とちぎユースサポーターズネットワーク）
上田　英司（日本NPOセンター）
小原　宗一（北区社会福祉協議会）
鹿住　貴之（JUON(樹恩) NETWORK）
唐木理恵子（紬ワークス）
公文真理亜（北九州市社会福祉協議会）
後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）
佐藤　匠　（至学館大学）
新堀　春輔（京都市環境保全活動推進協会）
垂井加寿恵（神戸学院大学 ボランティア活動支援室）
土崎　雄祐（とちぎ市民協働研究会）
疋田　恵子（杉並区社会福祉協議会）